

思いやりのある生徒

確かな学力をもつ生徒

心身ともにたくましい生徒



とうだい

平戸市立



生月中学校

自信と誇りもて歩め

「笑利」をつかんだ 生月中学校体育大会



週末の風雨で返って掃き清められた運動場。西南西の風が吹き、多少の肌寒さを感じましたが、それをものともしませんでした。11日、第59回生月中学校体育大会が開催されました。

宝亀実行委員長のかけ声に始まった行進から、気合い十分で期待が高まります。開会式では、芸術・科学部制作のパネルが披露され、スローガン「笑利」に込められた「勝つても負けても笑顔で終わりたい」という思いが紹介され、永谷くろんが凛々しく象的選手宣言を行いました。

プログラムの長縄跳びからスタート。練習では、2年生に水をあけられていた3年生が奮憤し、息の合ったところを見せ、優勝をさらっていききました。何と言っても、最後の体育大会にかける強い思いを感じました。続く選抜100m走、1000m走では、中学1年生らしい力強い走りが見られました。全員が全力で挑む姿に清々しさを感じました。借り物競争では、2つの指令をこなしながら、笑顔で

そして、プログラムを引き締めたのが、全校による集団行動です。指揮者の片瀬くんの号令により、一糸乱れぬ演技が披露されました。1年生を含め、短期間で仕上げた集中力に感心するとともに、最後の写真隊形で見られた達成感溢れる表情にうれしくなりました。休憩を挟み、後半は、縦割り集団の全校リレーから競技が再開されました。見事黄色チームが優勝を果た



の高ぶった雰囲気から一転、フオークダンスで和やかな時が流れました。コロナ禍にあって、長く実施の機会が失われていたからか、返って新鮮な印象を受けました。



アットホームな雰囲気です、体育大会のハイライトとなりました。最後の地区対抗リレーでは、山田地区が素晴らしい走りを見せて優勝を飾りました。

閉会式で、濱崎生徒会長が、やり切ったという達成感と全校が一丸となつて深めた絆、熱い思いを、新たな目標へつなげていくことを力強く語って、大会の幕が閉じられました。



あいつつでも述べましたが、「笑利」とは、ラグビーの「ノーサイド」のように、互いの健闘をたたえ合い、相手に感謝し、仲間として友情を深めるという精神を表すものでした。まさしく、実行委員を中心に、全校生徒一丸となつてそれを達成できた体育大会ではなかったでしょうか。保護者の皆様も、事前の奉仕作業、温かい声援、係や競技へのご協力、本当にありがとうございます！

閉会式で、濱崎生徒会長が、やり切ったという達成感と全校が一丸となつて深めた絆、熱い思いを、新たな目標へつなげていくことを力強く語って、大会の幕が閉じられました。

あいつつでも述べましたが、「笑利」とは、ラグビーの「ノーサイド」のように、互いの健闘をたたえ合い、相手に感謝し、仲間として友情を深めるという精神を表すものでした。まさしく、実行委員を中心に、全校生徒一丸となつてそれを達成できた体育大会ではなかったでしょうか。保護者の皆様も、事前の奉仕作業、温かい声援、係や競技へのご協力、本当にありがとうございます！



